

2011年度JHF事業計画

事業方針

ハング・パラグライディングの人口を、再び増加の方向に向けるための努力をします。このスポーツが日本に定着してから35年を数えようとしています。そのため、人が単身で空を飛ぶということに目新しさは消え、マスメディアは、ネガティブな事例を報道するばかりです。連盟として、もっと前向きな情報や自由に空を飛べることの楽しさを一般にアピールしていくようにしなければなりません。新しく設置したハングパラ振興委員会の主眼もここにあります。

同時に私達は、法規制を受けることのないように、きちんと自主規制の体制を運営していかなければなりません。一般へのアピールでは、単に楽しさを宣伝するだけでなく自由飛行とは何か、リスクはどのようなもので、愛好者の守るべき姿勢・意識は何かをはっきり示すよう努めます。

安全性の確保については、終わることのない相互研鑽が必要ですが、2008年から3年間かけて全教員の更新講習を行い知識・技能の維持向上を図ってきました。教員技能証の有効期限は3年ですので、これで全資格者を網羅したといえます。しかし、更新制でない自立したパイロット技能証の取得者に対しては、情報が届いていないとも指摘されており、全国のフライヤーの更なる意識啓蒙の方策を検討していきます。

機材の製造（輸入）販売、入門者へのスクーリング、エリア開発や管理、等を担うJHFのすべてのステークホルダーと連絡を密にし、全国統括機関として必要な資金投入と事業を実施していきます。

記

事業の具体的内容

1. 理事会・事務局の事業

- (1) 愛好者増加の推進
- (2) 寄付・助成金獲得の努力
- (3) ハング・パラグライディングのイメージ向上・宣伝告知
- (4) 新公益社団法人における役員選任制度の諮問と総会提案
- (5) 未更新フライヤー会員の実態把握と登録促進
- (6) 委員会の主体的活動のバックアップ
- (7) ボランティア制度の活用促進
- (8) フライト中の情報交換を可能にする無線機の普及
- (9) フライヤーのための損害保険の告知と普及
- (10) スクールのための施設賠償・損害保険の告知と普及
- (11) 第三者賠償責任保険の付保継続の努力

2. 常設委員会・事務局（広報出版）の事業

- (1) 安全性委員会
 - 1 安全セミナー開催のためのプログラム作り
 - 2 ハングの安全管理情報の普及に役立つ事例集を JHF ウェブサイトにリンク掲載
 - 3 事故調査活動の実施
 - 4 安全性委員会で収集・作成した事故報告書の公開方法の検討
 - 5 機体登録制度の推進

- (2) 教員・スクール事業委員会
 - 1 教員・助教員更新講習会の開催及び支援
 - 2 教員検定会制度の運営
 - 3 助教員検定会実施要領の整備
 - 4 地域安全セミナーの支援
 - 5 レスキューリパック認定証制度の運用支援
 - 6 ハンググライディング教本の改訂
 - 7 パラ・マヌーバ技能研修・取得方法の検討

- (3) HG 競技委員会
 - 1 ルールブックの改定
 - 2 WEB 登録によるエントリーの簡素化
 - 3 クラス I 世界選手権への選手派遣 (7 月イタリア)
 - 4 2011HG 日本選手権の開催 (未定)
 - 5 HGS 及びクロスカントリーリーグの管理運営
 - 6 ハング競技委員会ホームページ管理運営

- (4) PG 競技委員会
 - 1 ルールブックの改定
 - 2 WEB 事務局/ホームページ管理
 - 3 J リーグ、J2 リーグ、XC リーグ、AJ リーグ管理
 - 4 J2 リーグの活性化・支援
 - 5 2011PG 日本選手権の開催 新潟県鳴倉 (2011 年 6 月) 予定
 - 6 2011PG アクチュラシー日本選手権の開催 山形県十分一
 - 7 国体デモスポパラグライダー大会 (アクチュラシー) (山口県) 支援
 - 8 2011 年 PG 世界選手権 (スペイン) 選手団派遣
 - 9 2011 年 PG アクチュラシー世界選手権 (チェコ) 選手団派遣
 - 10 ホームページの充実 (タイムリーな大会結果のアップ)
 - 11 クロスカントリーリーグを CIVL の XC オンラインコンテストに繋げる

- (5) 制度委員会
 - 1 JHF に関わる制度の定款、規約、規程、規則等の文書管理
 - 2 公益認定に関わる制度の見直し
 - 3 理事会諮問事項の対応

(6) 補助動力委員会

- 1 騒音・事故の対応・対策の強化を図る
- 2 フライヤー会員登録の推進
- 3 MPG学科試験問題の改正
- 4 MPGテキストの作成
- 5 委員会ウェブサイトの運営
- 6 レスキューリパックと浮力体の啓蒙と調査
- 7 アキュラシー大会協力／参加・主催
- 8 トーイング技能の対応・検討

(7) ハングパラ振興委員会

- 1 JHF サイト・リニューアルの検討
- 2 ハングパラ普及振興のための方策企画、実施

(8) 事務局（広報出版活動）

- 1 JHFウェブサイトの運営（スクール紹介サイトを含む）
- 2 インターネット情報配信サービス「サーマルネット」の再開
- 3 JHFレポートの発行
- 4 補助動力関連資料の発行
- 5 ハンググライダー教本の発行
- 6 白書「HG・PG JHF活動実績」の編纂と発行
- 7 関連媒体への情報提供
ハング・パラグライダー関連雑誌に情報を提供する。
- 8 一般媒体等への情報提供
ハング・パラグライダーの紹介、イベントやエリアの紹介などを積極的に行う。
- 9 スクール等への情報提供

3. その他この法人の目的達成に必要な下記の事業を行う

- (1) 技術に関する事業
- (2) 教育に関する事業
- (3) 安全に関する事業
- (4) 競技に関する事業
- (5) その他普及啓蒙に関する事業

以上